RI District. 2660　Mino-o Rotary Club

WEEKLY BULLETIN

2019-20

会報　No.2454
2020 年 6 月 11 日発行

RI D.2660
箕面ロータリークラブ

2019-20 President of Rotary International　Mark Daniel Maloney
国際ロータリー第 2660 地区 2019-20 年度ガバナー　四宮　孝郎

2019-20 年度　会長：林　たかみ　幹事：片山　秀樹　広報・会報委員長：浦　収

事務局・例会場：〒562-0006 大阪府箕面市温泉町 1-1 箕面観光ホテル　Tel：072-724-2781　fax：072-724-1786
e-mail：mino-orc@abeam.ocn.ne.jp　HP：http://mino-orc.net/　**例会日**：毎週木曜日　18：30～

◆今週の例会プログラム◆

2020 年 6 月 11 日（木）第 2449 回例会（今年度最終例会）
・入会式　・米谷奨学生ご紹介・お誕生日お祝い
・細則変更の決議・会長、幹事挨拶・会長エレクト挨拶
・ゴング引き渡し式　等

◆お知らせ◆

次年度の例会（7 月～）につきましては、次年度幹事よりお知らせいたします。

◆会長挨拶◆　会長　林　たかみ

先週 6 月 4 日に、3 月末に理事会を行って以来の 2 か月ぶりの新旧合同の理事役員会を開催いたしました。ほぼ毎週、顔を合わしていた皆様と 2 か月お会いしないだけで、ずいぶんと久しぶりに再会したような気がしました。本当にこのような前代未聞の状態で今年度の年度末を迎えることになろうとは思いもよりませんでした。大江戸温泉さんが 6 月末まで全館閉館中の中、食事もなしで距離を離してマスクを着用のままの会議となりましたが、ご出席くださいました理事役員の皆様、ありがとうございました。

さて世の中は緊急事態宣言が解除されて、ようやく経済が徐々に動き出して少しほっとしましたが、まだまだ気の抜けない毎日がこれからも続きます。理事会ではこれからの箕面 RC の新しい生活様式ならぬ、運営方式を考えていただくことを含め、いろいろなことを検討いたしました。これから先もコロナとの闘いが長く続くことを考え、顔を合わせてのコミュニケーションを最重要視してきたロータリー活動を取り戻すために、これからは with コロナを念頭に例会を少しずつ復活させていこうという結論に達し、まず手始めに来週 11 日に、今年度最後となる例会を開催させていただくことになりました。7 月からは状況を見ながら、例会を増やしていく予定でいます。皆様には例会出席の際には感染防止に努められ、無理のない範囲でご参加のほどよろしくお願いいたします。

1 日も早く、気兼ねなく思い切りロータリー活動を楽しくできる日がくることを心から願います。

◆幹事報告◆　幹事　片山　秀樹

・2019-2020 年度ロータリー賞の受賞が確定しました。

◆理事役員会報告◆

審議事項
・6 月の例会について→6 月 11 日に実施
・本年度決算について
・次年度予算について
・クラブ現況について
・2020 年度決議審議会上程決議案承認の件
　→すべて賛成で回答

報告事項
・地区補助金臨時費事業の報告
・高橋さん入会の件→5 月 7 日付で入会、6/11 入会式
・米山奨学生への奨学金授与について
・週報の発行日について
　→号数はカウントアップしたものを使用し、発行日は例会日とするが必要に応じて臨時発行も行う
・2020-21 年度補助金申請用件について
　→コロナの影響により申請期限延長（6/19 まで）
・特別プロジェクト「友愛」協力のお願いについて
・秋の RYLA の中止について

◆2020-21　理事役員会報告◆

審議事項
・新年度例会について→7/16 例会開催予定

◆RI 会長・会長エレクトのメッセージに当地区の取り組みが紹介されましたのでご紹介いたします◆

地区ガバナー、ならびにガバナーエレクトの皆さま

拝啓　新型コロナウイルス（ COVID - 19 ）の流行が続く現在、皆さまとご家族がお元気で過ごされていることを願っております。ロータリーは引き続き、皆さまの健康と安全を最優先しています。

新型コロナウイルスにより、私たちの生活、仕事、そしてロータリー活動の多くの面で支障が生じております。しかし、そのような中でも、新しい方法で状況に適応し、成長を遂げ、つながりを築き、インパクトと積極的参加を高める機会があります。

今こそ「ロータリーは世界をつなぐ」のテーマを実践するときであり、世界はかつてないほどにロータリーを必要としています。新型コロナウイルスの影響は国や地域によって異なりますが、つながりと参加を維持する上での困難に直面しているクラブは確かに存在します。だからこそ、皆さま一人ひとりに今後数週間、そのようなクラブがあれば連絡を取り、危機的状況について話を聞き、参加とつながりを保てるようにするための特別なご支援をしていただくよう、ここにお願いする次第です。既に世界中の多くの地区がそれを実行しており、心から感謝しております。また、クラブや地区が画期的な方法で新型コロナ流行に対応し、クラブ・地区間、そして地域社会でのつながりを築いていることを強く誇りに感じております。以下に心を打たれる活動のいくつかをご紹介いたします。

・第 2483 地区（セルビア、モンテネグロ）では、すべてのロータリークラブとローターアクトクラブがオンライン例会を行えるよう、セルビア・ロータリー E クラブが詳しい手引きの作成を援助しました。また、同地区は著名な講演者を招いたオンライン例会を毎週開き、どのクラブでも出席できるようにしています。

・ルサカ・イースト・ロータリークラブ（ザンビア）は、初となるオンライン入会式を催し、地区内の多くのクラブが出席 する素晴らしい式典とすることができました。

・パリ・ウエスト・ローターアクトクラブ（フランス）は、さまざまな国のレシピで料理を行う催しを毎週開き、それを一冊の料理本にまとめました。

・**第 2660 地区（日本）は、地区の全会員のためにオンラインの「友愛の家」を立ち上げました 。これにより 、地区リーダーからのコミュニケーションを毎週発信し、クラブ例会に役立つ資料を提供し、クラブ役員・会員同士のメッセージ交換を促し、新型コロナ関連の奉仕プロジェクトを紹介することができます。** https://www.ri2660.gr.jp/yuai/

・植樹 1 万本という年度目標を立てたカカアコ・エコ・ロータリークラブ（米国ハワイ州）は、新型コロナの影響下でも活動を断念せず、斬新な方法を取り入れ、より一層の力を入れて目標達成に取り組んでいます。

・第 9211 地区（ウガンダおよびタンザニア）では、研修担当チームが「やればできる」という姿勢を貫き、 800 人以上が参加する充実したオンライン研修を開催することができました。

・シンガポール・ロータリークラブは、伝染病学者や感染病専門家が新型コロナ流行に関する質問や懸念に回答するためのウェビナーを実施しました。

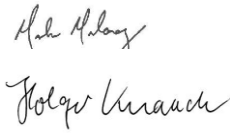
・第 9685 地区（ オーストラリア）のガバナー補佐は、地区内全クラ ブと連絡を取り、オンライン例会に消極的なクラブが近隣クラブ の オンライン例会に合流することを奨励しています。

・イタリア国内 13 地区のロータリークラブとローターアクトクラブは、世界をつなぎ、変化をもたらす模範的な活動に取り組んでいます。複数国から何百人もの人が参加し、専門家が新型コロナ関連の質問に回答するオンライン会合の開催や、医師であるロータリアンやその他の医師が人びとの相談に乗るコールセンターの設置など、総額 1100 万ユーロ（約 13 億円）の価値がある活動を展開しています。

これらの素晴らしい活動が実施されている一方で、現在も、先行きが見えない不安定な状況に置かれて いるクラブがあります。このため、ロータリーコーディネーターに は 皆さまや地区チームと協力することをお願いしています。各地において適切かつ一貫した方法でクラブのニーズに応えることができるよう、皆さまにもロータリーコーディネーターとの密な協力をお願いいたします。

また、 RI クラブ・地区支援室と連絡をお取りになっている地区もあるかと思いますが、同担当室の職員は今後も力強いリソースとして、アイデア、ベストプラクティス、研修、ツールを地区に提供していきます。地区チーム、地域リーダー、ロータリー職員と協力して、困難に直面しているクラブへのご支援をよろしくお願い申し上げます。

困難なときにあっても、「ロータリーは機会の扉を開く」ことができます。地区内で取り残されるクラブや、活動や例会を全く行うことができないクラブがないよう、引き続きガバナー補佐、地区会員増強委員長、その他の地区リーダーと協力してください。皆さまは、ロータリーのリーダーとして職業に徹し、地域社会、クラブ、地区にインスピレーションを与えることが求められています。皆さまがこれに応えていただくことにより、ロータリーは現在の危機的状況を乗り越え、回復への道を照らし、いかなる未来においても力強く歩み続けていくことができるでしょう。末筆となりますが、皆さまのご健康と益々のご成功をお祈り申し上げます。

敬具

2019 － 20 年度国際ロータリー会長　マーク・マローニー
2020 － 21 年度国際ロータリー会長　ホルガー・クナーク